

41
CLIPPEDIMAGE= JP409226780A

PAT-NO: JP409226780A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 09226780 A

TITLE: PACKAGING BAG

PUBN-DATE: September 2, 1997

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

WADA, KAZUMI

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

ISHIKAWA KK

COUNTRY

N/A

APPL-NO: JP08038219

APPL-DATE: February 26, 1996

INT-CL (IPC): B65D033/00;B65D075/66

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a packaging bag of a simple constitution, of which the gusset end part can be reinforced without reducing the housing capacity, and in addition, which can be easily unsealed including the reinforced part.

SOLUTION: Both side ends 2a of a paper-form article 2 are affixed to form a cylindrical body 3, with both side end parts 3a of the cylindrical body 3 under a folded state, are folded inward to form gussets 4. Then, both corner parts 6 which become both side end parts of an opening 5 of the cylindrical body 3 are folded to form both reinforced parts 7, and both reinforced parts 7 and the opening 5 are bonded under a state being wrapped with an over tape 8 and made

into a bag shape to form an affixed bag 1. Then, both reinforced parts 7 become the quadruple thickness of the paper-form article 2 by simply folding both corner parts 6, i.e., the end parts of the gussets 4, and by doing so, the end parts of the gussets 4 can be reinforced, and this packaging bag can be easily unsealed by a cut tape 11 which is fitted along the opening 5.

COPYRIGHT: (C)1997,JPO

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平9-226780

(43) 公開日 平成9年(1997)9月2日

(51) Int. Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 5 D 33/00 75/66			B 6 5 D 33/00 75/66	C C3-C4

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号 特願平8-38219

(22) 出願日 平成8年(1996)2月26日

(71) 出願人 591034512

石川株式会社

兵庫県神戸市兵庫区島上町1丁目2番10号

(72) 発明者 和田 和美

兵庫県神戸市兵庫区島上町1丁目2番10号

石川株式会社内

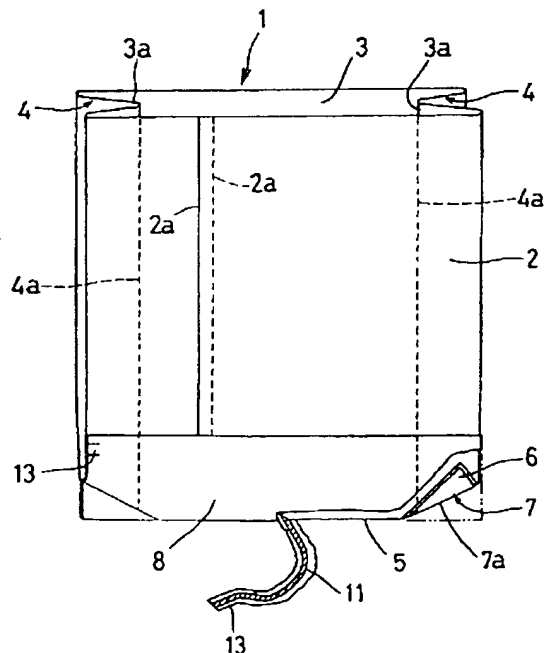
(74) 代理人 弁理士 庄子 幸男

(54) 【発明の名称】 包装用袋

(57) 【要約】

【課題】 簡単な構成で収容量を減らすことなくガセット端部を補強でき、しかも補強部も含めて容易に開封することができる包装用袋を提供する。

【解決手段】 紙状物2の両側端2aを貼り合わせて筒状体3とし、筒状体3を折り畳んだ状態の両側端部3aを内側に折り込んでガセット4を形成し、筒状体3の開口5の両側端部となる両角部6を折り曲げて両補強部7を形成して、両補強部7及び開口5をオーバーテープ8にて包囲した状態で接着し袋状とした貼り袋1を提供し、両補強部7は、両角部6、すなわちガセット4の端部を折り曲げるだけで紙状物2の4倍の厚みとなり、これでガセット4の端部を補強でき、開口5に沿って装着したカットテープ11により容易に開封できる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 紙状物の両側端を貼り合わせて筒状体とし、同筒状体を折り畳んだ状態の両側端部を内側に折り込んでガセットを形成し、前記筒状体の開口の両側端部となる両角部を折り曲げて補強部をそれぞれ形成して、同両補強部及び前記開口をオーバーテープにて包囲した状態で接着し袋状としたことを特徴とする包装用袋。

【請求項2】 前記補強部の折り目と前記ガセットの最内の折り目とが交わるようにした請求項1記載の包装用袋。

【請求項3】 前記オーバーテープに開封用のカッテテープを装着した請求項1または2記載の包装用袋。

【請求項4】 前記カッテテープは前記筒状体の開口端に沿って装着された請求項3記載の包装用袋。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、飼料、砂糖、化成品原料などの粉粒体の包装に使用される包装用袋に関するものであって、より詳しくは、ガセットを有した筒状体の開口の両側端部となる両角部を折り曲げて補強部を形成し、同補強部及び前記開口をオーバーテープにて包囲した状態で接着した包装用袋に関する。

【0002】

【従来の技術】従来から飼料、砂糖、化成品原料などの粉粒体の包装用として、紙を基本素材とし、用途に応じて合成樹脂を複合させて防湿性などに優れかつ必要な強度を持った包装用袋が開発され、広く流通している。これら包装用袋は、その時代の要請に合わせて種々改良されてきた。例えば、包装用袋の開封作業を簡易化したものとして、実開昭64-20451号公報、米国特許第2,923,457号明細書が知られている。これらの先行技術には、筒状体の一方の開口をオーバーテープにて覆って接着し、このオーバーテープの折れ目に沿って開封用のカッテテープを装着した包装用袋が開示されている。そして、そのカッテテープが装着されている摘まみ片を引っ張ることにより、開口を閉じているオーバーテープがその折れ目に沿って引き裂かれるから、鋏などの器具を使用することなく、上記包装用袋を開封することができる。

【0003】また、包装用袋の容量を増やすため、筒状体を折り畳んだ状態の両側端部を内側に折り込むことで形成したガセットを有する包装用袋があり、この包装用袋によれば、非使用時はガセットが内側に折り込まれているから、ガセットの無い包装用袋と外形寸法が変わらず、袋内に物を入れた時点でガセットが広がり、包装用袋が幅方向に嵩を増し、物を収容する容量が大きくなることになる。

【0004】このガセット構造を有する包装用袋は、上述のような大きなメリットがあるが、ガセットの端部、すなわち開口側近傍が強度的に弱くなり、包装用袋内に

物を入れるとガセット端部に隙間が生じ内容物が漏出したり、最悪の場合はこのガセット端部から破れてしまうこともある。このような問題点を踏まえて、このガセット端部を補強するものとして、①特願平6-28366号公報の包装用袋が知られている。この包装用袋は、図12に示すように、ガセットaを有する筒状体（紙袋本体）bの開口cの両側端部に段切部dを形成し、この段切部dを開口cを塞ぐように筒状体bの一面側に折り曲げて、補強部eを形成し、この補強部e及び開口cにオーバーテープ（当て紙）fにて包囲して接着したものである。

【0005】これにより、ガセットa端部の隙間から内容物が漏出したり、ガセットa端部から包装用袋が破れてしまうことを防いでいる。②さらに、先行技術としては、特開平3-56247号公報に示す包装用袋が知られている。この包装用袋は、図13に示すように、筒状体（袋本体）bの開口（口部）cにその全幅に渡りオーバーテープ（封緘紙）fをあてがい接着して、それをオーバーテープfを外側になるように二度折り曲げて構成したものである。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の①の包装用袋では、補強部eの開封が困難となり、その補強部eに中身の物が挟まり易く残留してしまう。さらに、②の包装用袋では、ガセットa端部が補強され、その開封も容易になるが、開口cをその全幅に渡り二度折り曲げるから、構造が複雑になると共にその分物の収容量が減り、製造コスト上昇の原因になるなど多くの不都合がある。

【0007】そこで、本発明の目的は、簡単な構成で収容量を減らすことなくガセット端部を補強でき、しかも補強部も含めて容易に開封することができる包装用袋を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明の包装用袋は、上記課題を解決するために提案されたものであって、下記の構成からなることを特徴とするものである。すなわち、本発明によれば、紙状物の両側端を貼り合わせて筒状体とし、同筒状体を折り畳んだ状態の両側端部を内側に折り込んでガセットを形成し、前記筒状体の開口の両側端部となる両角部を折り曲げて補強部をそれぞれ形成して、同両補強部及び前記開口をオーバーテープにて包囲した状態で接着し袋状とした包装用袋が提供される。この発明によれば、補強部は、筒状体の開口の両側端部となる両角部、すなわち、ガセット端部を折り曲げるだけで形成することができ、しかも収容量を減らすことなく、紙状物厚みの4倍の厚みがある補強部でガセット端部を補強できることになる。

【0009】また、本発明によれば、前記補強部の折り目と前記ガセットの最内の折り目とが交わるようにした

包装用袋が提供される。この発明によれば、ガセット端部の隙間や開きが完全に無くなり、補強部に物が入り込み残ることもないという特徴がある。

【0010】また、本発明によれば、前記オーバーテープに開封用のカットテープを装着した包装用袋が提供される。この発明によれば、カットテープによりオーバーテープを切り裂けば、包装用袋を開封できるという特徴がある。

【0011】また、本発明によれば、前記カットテープは前記筒状体の開口端に沿って装着された包装用袋が提供される。この発明によれば、カットテープによりオーバーテープを切り裂けば、補強部も含めた包装用袋の開口全体を開封できるという特徴がある。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態を挙げて本発明を添付図面に基づいて詳述する。図1は本発明の実施形態を示す一部を破断した包装用袋の斜視図である。図1において、1は包装用袋を示し、この包装用袋1は、紙状物2の両側端2a、2aを貼り合わせて筒状体3とし、同筒状体3を折り畳んだ状態の両側端部を内側に折り込んでガセット4を形成し、筒状体3における一方の開口5の両側端部となる両角部6、6を折り曲げて補強部7、7をそれぞれ形成して、同両補強部7、7及び開口5をオーバーテープ8にて包囲した状態で接着し袋状としたものである。

【0013】紙状物2は、矩形であり、紙、プラスチックフィルム、プラスチックシートであるが、形状、材質共に特に限定はない。この紙状物2の両側端2a、2aを貼り合わせて筒状体3としているが、プラスチックフィルムなどでは、シームレスの筒状体3としても良い。

【0014】この筒状体3は、図1に示すように、折り畳んだ状態の両側端部3a、3aをV字状に内側に折り込んでガセット4、4を形成している。これらガセット4、4を形成している筒状体3の一方の開口5の両角部6、6は、図2に示すように、同方向に折り曲げられて、一方の開口5の一部を閉じる状態で補強部7、7がそれぞれ形成される。この両角部6、6を同方向に折り曲げる際、図3に示すように、ガセット4、4の折り目4a、4aと補強部7、7の折り目7a、7aとが交わるようにするのが良い。このようにすると、補強部7、7の中に物が入り込むことを完全に防ぐことができるからである。

【0015】これらの補強部7、7は、図3、4に示すように、前記紙状物2を4枚重ねた状態となり、このタイプの包装用袋1に物を入れた際にガセット4、4の端部に荷重が集中するが、4重となった紙状物2の強度アップにより破損を防止できる。そして、これらの補強部7、7を形成した状態の筒状体3は、図4に示すように、その開口5を補強部7、7と共にオーバーテープ8にて包囲された状態で接着層10により貼りつけられ、

袋状とされる。このオーバーテープ8には、図4および5に示すように、補強部7、7となっている部分も含んだ開口5の端に沿ってカットテープ11が接着層10により貼りつけられている。

【0016】すなわち、上記事情は、図5のA-A断面を示す図6、図5のB-B断面を示す図7に示す通りであり、カットテープ11は常に開口5の近傍に位置したオーバーテープ8に接着層10により貼りつけられ、かつガセット4、4の端部を補強する補強部7、7は紙状物2が4重となっており、この状態でオーバーテープ8にて包囲され接着層10により貼りつけられている。

【0017】このカットテープ11の両端に位置するオーバーテープ8には、図8に示すように、カットテープ11を中心として両側に切れ目12、12が入り、この部分には接着層10を設けなくて適当な片13としている。したがって、これら適当な片13を引っ張れば、カットテープ11によりオーバーテープ8が筒状体3の開口5の端に沿って切り裂かれることになり、この包装用袋1は開口5全体が容易に開封されるようになっている。

【0018】なお、このオーバーテープ8は、図5に示すように、その両側端8a、8aが筒状体3の折り目3b、3bに合わせて、筒状体3に接着層10により貼り付けられている。このため、この包装用袋1は、物を入れた際その物の自重によりガセット4、4が広がり易くなって、物が多く入ることになる。

【0019】また、このオーバーテープ8は、図9に示すように、その一端8aを延出させ突出片14とし、この突出片14にカットテープ11も準じて延出させ、カットテープ11を中心として両側に切れ目15、15を入れ、適当な片16としても良い。このようにすることで、上述の接着層10を設けなくて適当な片13とする際の不都合、すなわち、開口5までの距離が短く接着部分の強度が低下するのを防ぐことができる。

【0020】また、このオーバーテープ8は、図10に示すように、その折り目8bに沿ってカットテープ11が接着層10により接着されていても良い。このカットテープ11の装着経路は、上記2例に限らず、包装用袋1の用途に応じて種々選択される。

【0021】上記した包装用袋1の製造は、今までの製造プロセスにおいて、ガセット4、4を形成している筒状体3にオーバーテープ8を接着する直前の工程に、一方の開口5の両角部6、6を同方向に折り曲げて、補強部7、7とする工程を挿入するだけであり、複雑な製造設備を必要としない。

【0022】次に上記構成になる包装用袋1の使用方法を説明する。上述のように既に一方の開口5が封止されている包装用袋1を用意し、他方の開口5aを開いて、包装用の飼料、砂糖、化成品原料などの粉粒体を入れると、オーバーテープ8はその両側端8a、8aが筒状体

5

3の折り目3b、3bに合わせて筒状体3に接着されていため、図11に示すように、粉粒体の自重によりガセット4、4が広がり物が多く入ることになり、他方の開口をユーザーにより任意の方法で封止すれば、その補強部7、7によりできる窪み7b、7bに手指を差し込み移動することも出来る。

【0023】なお、一方の開口5が他の方法、例えば、接着あるいはミシン縫いなどにより封止されている包装用袋に包装用の粉粒体を入れ、他方の開口に本発明の構造を適用しても良いこと勿論である。また、上述の実施例では、筒状体3を単層としたが、これに限定されるものではなく、複数層であっても良い。

【0024】以上、本発明の実施形態を図面にに基づき説明したが、具体的な構成はこれに限定されず、本発明の要旨を逸脱しない限りにおいて適宜変更、追加できるものであることは理解されるであろう。

【0025】

【発明の効果】以上詳述したように、請求項1の発明によれば、補強部は、筒状体の開口の両側端部となる両角部、すなわち、ガセット端部を折り曲げるだけで形成でき、しかも収容量を減らすことなく、紙状物厚みの4倍の厚みがある補強部でガセット端部を補強できることになるから、簡単な構造で有るにもかかわらず、ガセット端部の開きや破損を確実に防ぐことができる。

【0026】請求項2の発明によれば、ガセット端部の隙間や開きが完全に無くなり、補強部に物が入り込み残ることもないから、請求項1の発明の効果をより高め、補強部に入り込んだ物を無駄にすることがない。

【0027】請求項3の発明によれば、カットテープによりオーバーテープを切り裂くだけで、包装用袋を開封することができる。

【0028】請求項4の発明によれば、カットテープによりオーバーテープを切り裂けば、補強部をも含めた包装用袋の開口全体を開封できるから、包装用袋より物を出すのに都合が良い。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施形態を示す包装用袋の斜視図である。

6

【図2】本発明の実施形態である包装用袋の製造過程を示す正面図である。

【図3】図2のS部を拡大して示す斜視図である。

【図4】本発明の実施形態である包装用袋の製造過程を示す正面図である。

【図5】本発明の実施形態を示す包装用袋の一部を切欠いた正面図である。

【図6】図5のA-A線に沿う断面図である。

【図7】図5のB-B線に沿う断面図である。

【図8】本発明の実施形態におけるオーバーテープの一部を切欠いた斜視図である。

【図9】オーバーテープの他の実施形態を示す正面図である。

【図10】本発明の実施形態におけるオーバーテープの一部を切欠いた斜視図である。

【図11】本発明の実施形態の包装用袋を使用した状態の一例を示す一部を切欠いた斜視図である。

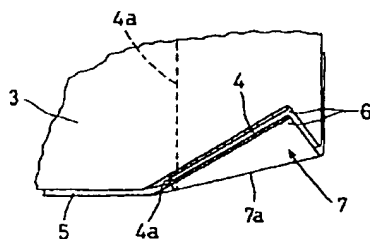
【図12】従来例を示す断面図である。

【図13】従来例を示す斜視図である。

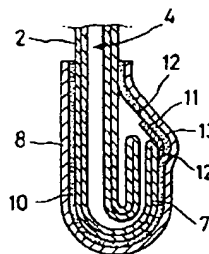
【符号の説明】

1	包装用袋
2	紙状物
2a, 8a	側端
3, b	筒状体
3a	側端部
3b, 4a, 7a	折り目
4, a	ガセット
5, c	開口
6	角部
7, e	補強部
7b	窪み
8, f	オーバーテープ
10	接着層
11	カットテープ
12, 15	切れ目
13, 16	摘み片
14	突出片
d	段切部

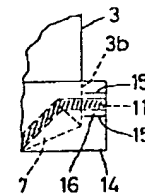
【図3】



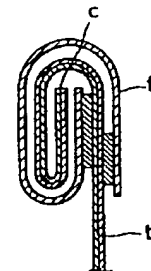
【図7】



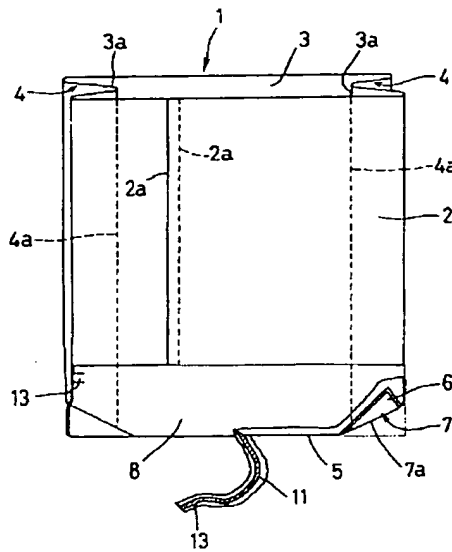
【図9】



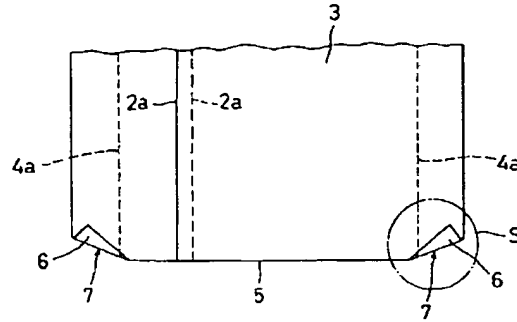
【図13】



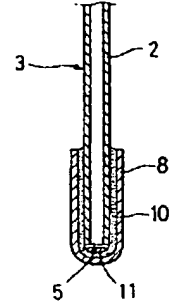
【図1】



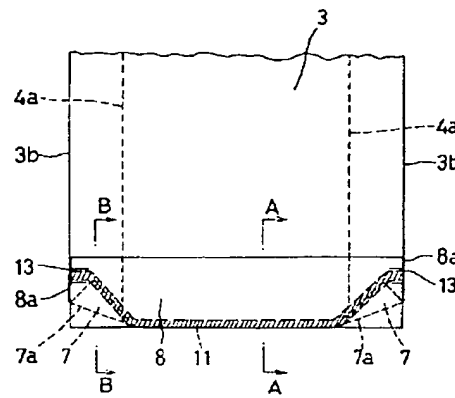
【図2】



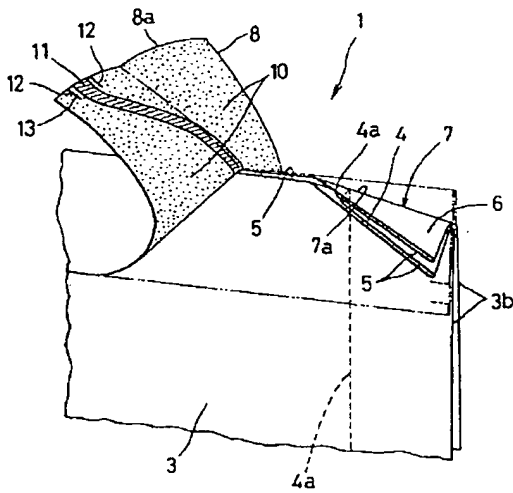
【図6】



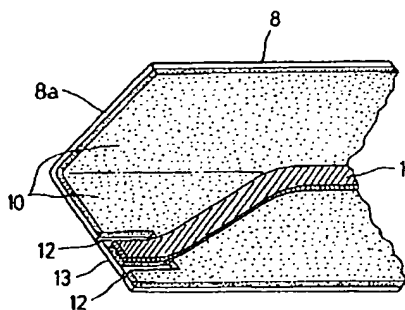
【図5】



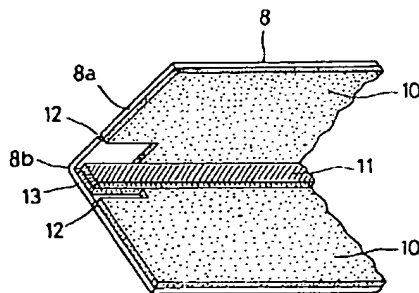
【図4】



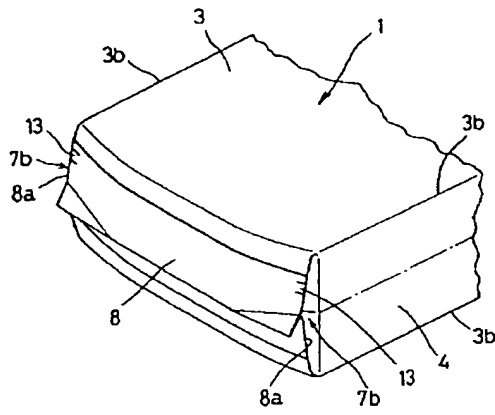
【図8】



【図10】



【図11】



【図12】

